

シヨウニー市との国際交流

姉妹都市アメリカ・オクラホマ州シヨウニー市から親善訪問団21名（中学生16名、引率5名）が、8月1日から8月6日までの間、本市を訪れました。

昨年度は、東日本震災の影響で受け入れ事業がかなわず、2年ぶり21回目の訪問となりました。

訪問団一行は、フェライト子ども科学館や消防署などの施設見学、市役所や仁賀保中学校への訪問、竿燈まつりや海水浴などの体験を通して市民やホストファミリーと交流を深めました。



▶平成2年9月に旧仁賀保町とシヨウニー市は姉妹都市提携をしました。

8月1日、ホテルエクセルキクスイで歓迎パーティーが行われ、185名の参加者で会場は賑わいました。歓迎パーティーでは、昨年度の仁賀保中学校の訪問団員を中心としたソーラン節や、シヨウニー市訪問団の歌やダンスが披露され、和やかな雰囲気の中、団員同士打ち解けあっている様子でした。



歓迎パーティー：笑顔が満開！

8月2日は仁賀保中学校を訪れ、吹奏楽部の演奏や剣道部の演技、書道や茶道を体験し、中学生同士の交流を深めました。



海体験

シヨウニー市訪問団全員が人生で初めて体験する海仁賀保ボートクラブの協力によるクルージングや海水浴に歓声を上げて楽しんでいました。



書道体験

訪問団員の日本語スピーチなどが行われ、外国語の難しさや大切さを再認識したようでした。

夏空の下、さわやかな風に回る風車や雄大な鳥海山、穏やかな日本海の眺めを堪能しました。



仁賀保高原

最終日の早朝、スマイルでの別れ。ホストファミリーとの握手、抱擁、別れの言葉、お互いの心に宝物を残し、別れを惜しむ姿がありました。



また会う日まで



訪問団から

タレン・テイラー 団長

私は、にかほ市を「日本一友好的で、美しいまち」と思っています。水田に囲まれたこの地域の景色は美しく、お米の味については言ってもありません。そして、人間性について感じたことは、にかほ市民は非常に友好的で、いつも微笑んでいるということ。今回、茶道を体験する機会がありました。作法などについて親切にレクチャーしてくれたので本当に満喫することができました。このような体験から、私たちは、国や文化の違いや、何千マイル離れて生きているとしても、同じ人間に変わりはないということを改めて強く実感しました。にかほ市最高！

諸暨市との交流

平成22年8月に中国・浙江省諸暨市への初めての青少年交流事業として訪問団（高校生8名、引率者3名）を派遣しました。そして今年度、青少年交流受け入れ事業を初めて行いました。

諸暨市は、上海市の南東約2時間の距離に位置し、人口は約106万人。真珠の生産・加工や靴下・ネクタイなどのマーケットとしては中国一を誇ります。また、中国4大美人に数えられる「西施」の故郷としても有名な地です。



▶平成14年7月に旧象潟町と諸暨市は友好都市提携をしました。

8月3日から6日までの4日間、友好都市である諸暨市から何斉永団長（諸暨市教育局副局長）をはじめとする青少年代表団12名（高校生8名、引率者4名）が来市し、ホームステイをしながら交流を深めました。



真珠製の工芸品

8月3日、諸暨市訪問団の歓迎会が道の駅象潟「ねむの丘」で行われ、市国際交流協会会員や受け入れ期間中、青少年交流の一員として帯同する仁賀保高校生など約70人が参加しました。会では、にかほ市と西施との繋がりなどが説明されると訪問団員が、熱心にメモを取る姿も見られました。また、余興として市国際交流協会会員による日中友好マジックショーが披露され

ると、代表団生徒もそれに答えるかたちで即席によるマジックショーを披露するなどし、早くも打ち解けた様子が見られました。



すっかり仲良し

8月4日、第23回西施まつりが蛸満寺本堂で開催され、仁賀保高校生による西施の舞や由利高校民謡部による演奏を楽しみました。

次に、白瀬南極探検隊記念館を見学し、白瀬南極探検隊の説明を受けました。午後からは、日本文化体験を目的に竿燈まつりの見学を行いました。大変混雑していましたが、竿燈の妙技に歓声をあげていました。



8月5日は、仁賀保高校の学校見学を行いました。仁賀保高校生と一緒に料理教室やバドミントン、バスケットボールなどを楽しみました。

同世代間の交流ということもあり、もっと日本のことを知りたいという声も上がりました。



料理が楽しいのは万国共通！

8月6日、4日間の日程を終え、にかほ市を後にしました。初めての青少年訪問団として訪れた団員は、ホストファミリーや期間中帯同していた仁賀保高校生との別れを惜しんでいました。

また、歓迎会の際に市国際交流協会から記念品として、諸暨市との国際交流の

経過を記録したアルバムが贈られています。そのアルバムには空白のページがあり、滞在中、撮影された写真が別れの際にプレゼントされました。



See you again! 再見!



「また、お会いしましょう！」